

SG200、SG300、およびSG500シリーズスイッチの時間設定の手動設定

目的

システム時間は、ユーザが手動で設定するか、SNTPユニキャスト/マルチキャスト/エニーキャストサーバから動的に設定するか、GUIを実行しているPCから同期できます。同期されたシステムクロックは、ネットワーク上のすべてのデバイスの参照フレームを提供します。ネットワーク時間の同期は、ネットワークの管理、保護、およびデバッグに不可欠です。同期された時刻は、バージョンの違いや変更時刻との混同を避けるため、共有ファイルシステムでも重要な役割を果たします。スイッチは、ブートプロセスの一環として、時間、タイムゾーン、およびGUIを常に設定します。

このドキュメントの目的は、SG200、SG300、およびSG500シリーズマネージドスイッチのシステム時間を手動で設定およびリセットする方法を説明することです。

適用可能なデバイス

- SG200
- SG300
- SG500

[Software Version]

- 1.3.0.59

システム時刻の設定

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインします。デフォルトのユーザ名は「cisco」、デフォルトのパスワードは「cisco」です。

ステップ 2 : Administration > Time Settings > System Timeの順に移動します。System Timeページが開きます。

System Time
 Dynamic Time Zone and Daylight Saving Time configurations from DHCP, if received, overrides manual configurations.
 Actual Time (Static): 16:49:12, 2013-Mar-14;
 Last Synchronized Server: Unsynchronized

Clock Source Settings
 Main Clock Source (SNTP Servers): Enable
 Alternate Clock Source (PC via active HTTP/HTTPS sessions): Enable

Manual Settings
 Set the date and time manually, or click [here](#) to import them from your computer.
 Date: 2013-Mar-14 YYYY-MM-DD
 Local Time: 16:49:12 HH:MM:SS

Time Zone Settings
 Get Time Zone from DHCP: Enable
 Time Zone from DHCP: N/A
 Time Zone Offset: UTC
 Time Zone Acronym: (0/4 Characters Used)

Daylight Savings Settings
 Daylight Savings: Enable
 Time Set Offset: 60 min (Range: 1 - 1440, Default: 60)
 Daylight Savings Type:
 USA
 European
 By dates
 Recurring
 From: YYYY-MM-DD HH:MM
 To: YYYY-MM-DD HH:MM
 From: Day: Sun Week: First Month: Jan Time: 00:00 HH:MM
 To: Day: Sun Week: First Month: Jan Time: 00:00 HH:MM

Apply Cancel

ページの上には、次のフィールドが表示されます。

- ・ 実時間 (スタティック) : デバイスの実時間と、指定されている場合はタイムゾーンが表示されます。
- ・ Last Synchronized Server: Simple Network Time Protocol(SNTP)サーバからの情報 (サーバのアドレス、ストラタム、タイプなど) を表示します。デバイスがSNTPサーバに接続していない場合、このフィールドには「Unsynchronized」と表示されます。

ステップ 3 : Manual Settingsで、Dateフィールドに現在の日付を入力します。

注 : Dateフィールドの上の文で「ここ」をクリックすると、コンピュータに保存されている時刻設定が自動的に取得されます。クリックすると、手順5に進みます。

Manual Settings
 Set the date and time manually, or click [here](#) to import them from your computer.

Date: 2013-Mar-14 YYYY-MM-DD
 Local Time: 17:25:47 HH:MM:SS

ステップ 4 : Local Timeフィールドに現在の時間を入力します。

Manual Settings

Set the date and time manually, or click [here](#) to import them from your computer.

Date: YYYY-MMM-DD
 Local Time: HH:MM:SS

ステップ5: (オプション) DHCPサーバからダイナミックタイムゾーン設定を有効にする場合は、Time Zone SettingsでGet Time Zone from DHCPの横にあるEnableチェックボックスにチェックマークを入れます。

注：この機能を有効にすると、手順3と4で入力した手動設定がリセットされます。この機能を有効にした場合は、ステップ8に進みます

Time Zone Settings

Get Time Zone from DHCP: Enable

Time Zone from DHCP: N/A

手順 6：ドロップダウンメニューからタイムゾーンオフセットを選択します。

Time Zone Settings

Get Time Zone from DHCP: Enable

Time Zone from DHCP: N/A

Time Zone Offset: (0/4 Characters Used)

Time Zone Acronym:

Daylight Savings Settings

Daylight Savings:

Time Set Offset:

Daylight Savings Type:

From:

To:

From: HH:MM

To: HH:MM

手順 7：Time Zone Acronymフィールドの横にTime Zone Acronymを入力します。

Time Zone Offset: UTC
Time Zone Acronym: PST (3/4 Characters Used)

ステップ 8 : 夏時間の現在の時間の自動調整を有効にするには、[夏時間の設定]セクションで、[有効]チェックボックスをオンにします。

Daylight Savings Settings
Daylight Savings: Enable
Time Set Offset: 60 min (Range: 1 - 1440, Default: 60)

ステップ 9 : Time Set Offsetフィールドに、GMTからのオフセットを1 ~ 1440の範囲で分単位で入力します。デフォルト値は 60 です。

Daylight Savings Settings
Daylight Savings: Enable
Time Set Offset: 60 min (Range: 1 - 1440, Default: 60)
Daylight Savings Type:
 USA
 European
 By dates
 Recurring

ステップ 10 : Daylight Savings Typeフィールドで、実装する夏時間のタイプを選択します。

Time Set Offset: 60 min (Range: 1 - 1440, Default: 60)
Daylight Savings Type:
 USA
 European
 By dates
 Recurring

設定は次のように定義されます。

- ・ USA : 夏時間のガイドラインをUSAに設定します。選択した場合は、ステップ13に進みます。
- ・ European : 夏時間のガイドラインをEU標準に設定します (この標準を使用する他の国でも有効)。選択した場合は、ステップ13に進みます。
- ・ 日付別 : 夏時間のガイドラインを手動で設定します。通常は米国またはEU以外の国 (上

記) を対象とします。これにより、DSTのStartとStopを毎年カスタマイズできます。

- ・ 繰り返し : DSTは毎年同じ日に発生します。

ステップ11: (オプション) [日付ごと]タイプを選択した場合は、夏時間が行われる日時を入力します。

The screenshot shows the 'Daylight Savings Settings' form. The 'Time Set Offset' is set to 60 min. Under 'Daylight Savings Type', the 'By dates' radio button is selected and circled in red. Below it, the 'From:' and 'To:' fields are highlighted with a red box, showing date and time input fields in YYYY-MMM-DD HH:MM format.

- ・ From:DSTが開始される日時。
- ・ To : 宛先DSTが終了する日時。

ステップ12. (オプション) 「Recurring」タイプを選択した場合は、強調表示されたFromフィールドとToフィールドに適切な情報を入力します。

The screenshot shows the 'Daylight Savings Settings' form. The 'Daylight Savings' checkbox is checked. Under 'Daylight Savings Type', the 'Recurring' radio button is selected and circled in red. Below it, the 'From:' and 'To:' fields are highlighted with a red box, showing date and time input fields in YYYY-MMM-DD HH:MM format. At the bottom, the 'From:' and 'To:' fields are further detailed with dropdown menus for Day, Week, and Month, and a Time field.

- ・ [開始]:DST (夏時間) が毎年開始される日付を選択します。
- Day:DSTが毎年開始される曜日。
- Week:DSTが毎年開始される月の週。
- Month:DSTが毎年開始される月。

- Time:DSTが毎年開始される時刻。
- ・ To - DSTが毎年終了する日付。
- Day:DSTが毎年終了する曜日。
- Week:DSTが毎年終了する月の中の週。
- Month:DSTが毎年終了する年の月。
- Time:DSTが毎年終了する時刻。

ステップ 13[APPLY] をクリックします。システム時刻の値は実行コンフィギュレーションファイルに書き込まれます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。